

令和4年度

県

税

の



県税イメージキャラクター
『タツ君』

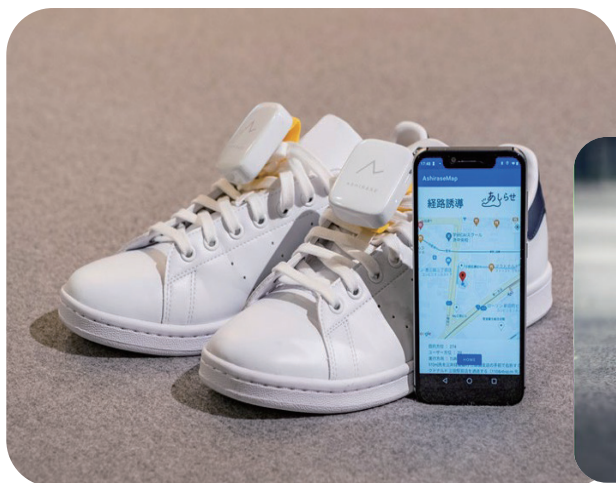
し

お

り



自律航行小型EV船によるオンデマンド物資輸送サービスの開発・実証



視覚障がい者向け靴挿入型歩行ナビゲーションシステムの開発・実証



はじめに

広島県は、県民の皆様が「広島に生まれ、育ち、住み、働いて良かった」と、心から思える広島県の実現に向けて取り組んでいます。

皆様に納めていただく県税は、この基本理念を実現するための重要な財源です。「県税のしおり」は、県税の仕組みや使われ方など、そのあらしを県民の皆様に向けて紹介しています。

多くの方にご覧いただき、県税をより身近なものと感じ、理解を深めていただければ幸いです。



《表紙写真 ひろしまサンドボックス》

広島県では、最新のデジタル技術やノウハウを持つ県内外の企業や人材を呼び込み、産業や地域の課題解決をテーマとして、共創で試行錯誤できるオープンな実証実験の場「ひろしまサンドボックス」を提供し、多くのチャレンジを支援しています。

令和2年11月から実施したコロナ禍における課題解決を図る実証実験「D-EGGS PROJECT」では、県内16市町を実証フィールドに、県内企業、医療機関及び教育機関など100以上の関係者との共創により、離島や中山間地域における買い物が困難な方のための「自律航行小型EV船」や「自動配送ロボット」の開発、視覚障がい者向け靴挿入型歩行ナビゲーションの開発など、30件のプロジェクトが実施されました。